

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス こもっこ		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		~ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		~ R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しんで通所できている。また保護者が安心して児童を預けることが出来ている。	保護者との連絡を密にとり意向やニーズをサービスに取り入れることができている。	アンケートをさらに活用し保護者の求めるサービスを追求していく。またスタッフが入れ替わった際の情報共有をしっかりと行っていく。
2	児童に寄り添った支援サービスを提供することが出来ている。	モニタリングやサービス計画の説明をしっかりと行いサービス内容をしっかりと検討している。	より良いサービスを提供できるようさらに提供できることはないか社内で検討する。
3	サービス内容が一緒にならないよう保育士や他の職種が連携し、創意工夫し活動を行っている。	毎月会議を実施し、療育の検討を行う場を設けている。	講師等招いて療育内容がマンネリ化しないようさらに工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者間同士が交流する場の提供ができていない。	保護者会などの開催が出来ていない。	保護者会の実施や親子通園の日を定め実施する。
2	マニュアル等の周知が保護者へできていない。	手紙にて情報の共有は行っているが周知できていない。	HP等にマニュアルを掲載し、誰でも確認できるようにする。
3	地域児童と交流する場の提供ができていない。	地域の学校との連携等が図れていない。	地域の学校等と情報交換の場を設けたり、地域住民の方が参加できる事業を地域の連絡会を通して実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスこもっこ

公表日 R7年5月1日

利用児童数 16

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	5	2	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		5	5	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9		2	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		4		9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		9		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス こもっこ			公表日	R7年5月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用者様のスペースを確保できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		適切に人員配置できるように毎月人員の確認を実施している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		児童によって対応方法や物品を変更する等対応を変えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日清掃と消毒等を行い清潔に保てるようにしている。また活動ごとに環境を変更するようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		相談室やパーテーション等を活用し対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	4	業務の振り返りを朝礼時に行うようにしている。さらなる職員への周知を図る。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3	評価を実施し改善につながるよう社内で検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	4	意見聴取の場は設けているがさらに回数を多くできるように工夫する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8	第三者の外部評価は実施していないので導入を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	地域の放デイ連絡会へ代表が参加し、その際に法令研修等必要な研修を周知し、研修を受講している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		会議等でプログラムを検討しHPに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		個別支援計画を作成する際にアセスメント当を行い適切に計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎月会議を実施し、他のスタッフの意見も反映できるよう工夫している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎月の会議で職員へ周知し共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4	行動観察等は日々行い朝礼時に共有しているが、標準化されたツール等用いていないため今後導入を検討する。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		具体的な支援を計画し設定できるよう会議にて話し合いをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		毎月会議を実施し、立案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		毎月会議を実施し、立案を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		毎月会議を実施し、支援計画の立案をおこなっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝礼を実施し、業務の確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	9	1	終了後は送迎業務が入る為、次の日の朝に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	3	児童の変化等は業務連絡のノートを用いて日々の情報交換を実施している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		モニタリングの実施を適せん実施している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		ガイドラインの情報共有を行い、職員へ支援の実施を促している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		自己選択ができるよう非言語のコミュニケーション等用いてサービスを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児発管や管理者が会議に参加し状況を説明している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		連携を取れるよう代表者が地域の会議等に参加している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	保護者より毎月行事予定表を頂き時間に変更がないか確認を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		担当者会議を実施し、情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		担当者会議を実施し、情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	8	児童支援センターとの連携はまだ取れていないが担当者会議等では繋がっている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	地域児童との交流は現時点ではとれていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7	代表が地域の自立支援協議会に参加し、情報共有を行っている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時や連絡帳などを用いて確認を行い、児童の変った様子等あれば逐一連絡し情報共有を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	各連絡会からの家族を交えた勉強会の案内を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時や料金変更時にご案内している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		モニタリングとアセスメントシートを用いて確認する機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		計画を確認していただきサインをもらい同意していただいている。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		悩みに対しては適時送迎やモニタリング時に実施し、適せん助言を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	父母の会の活動支援や保護者会等は開催できていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情があった場合には管理者や代表が率先し、保護者への対応を実施している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		年4回の開放やフェイスブックやインスタグラムを用いて活動の発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報の取り扱いについては注意しているが、クラウドサービス等を用いてさらに管理の徹底を行う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		障がい児や保護者に合わせた配慮を行いよう日々気を付けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9	地域住民を招待した事業を実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルの見直しを定期的実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		2カ月に一度訓練の実施を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		看護師にて服薬の確認を徹底している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		アレルギー児童と医師の指示書を毎日確認するよう徹底している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	安全計画の作成を行い会議にて周知している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	6	安全計画の作成は行っているが、保護者への周知ができていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットを作成し情報共有を行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月の会議時に研修や虐待についての研修を実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		身体拘束については保護者に同意書を作成し、慎重に実施している。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス こもっこ		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しんで通所できている。また保護者が安心して児童を預けることが出来ている。	保護者との連絡を密にとり意向やニーズをサービスに取り入れることができている。	アンケートをさらに活用し保護者の求めるサービスを追求していく。またスタッフが入れ替わった際の情報共有をしっかりと行っていく。
2	児童に寄り添った支援サービスを提供することが出来ている。	モニタリングやサービス計画の説明をしっかりと行いサービス内容をしっかりと検討している。	より良いサービスを提供できるようさらに提供できることはないか社内で検討する。
3	サービス内容が一緒にならないよう保育士や他の職種が連携し、創意工夫し活動を行っている。	毎月会議を実施し、療育の検討を行う場を設けている。	講師等招いて療育内容がマンネリ化しないようさらに工夫する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者間同士が交流する場の提供ができていない。	保護者会などの開催が出来ていない。	保護者会の実施や親子通園の日を定め実施する。
2	マニュアル等の周知が保護者へできていない。	手紙にて情報の共有は行っているが周知できていない。	HP等にマニュアルを掲載し、誰でも確認できるようにする。
3	地域児童と交流する場の提供ができていない。	地域の学校との連携等が図れていない。	地域の学校等と情報交換の場を設けたり、地域住民の方が参加できる事業を地域の連絡会を通して実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス こもっこ

公表日 R7年5月1日

利用児童数 2

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1			1	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。			2			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス こもっこ			公表日	R7年5月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用者様のスペースを確保できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		適切に人員配置できるように毎月人員の確認を実施している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		児童によって対応方法や物品を変更する等対応を変えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日清掃と消毒等行い清潔に保てるようにしている。また活動ごとに環境を変更するようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		相談室やパーティション等を活用し対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	4	業務の振り返りを朝礼時に行うようにしている。さらなる職員への周知を図る。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3	評価を実施し改善につなげるよう社内で検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	4	意見聴取の場は設けているがさらに回数を多くできるように工夫する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8	第三者の外部評価は実施していないので導入を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	地域の放デイ連絡会へ代表が参加し、その際に法令研修等必要な研修を周知し、研修を受講している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		会議等でプログラムを検討しHPに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		個別支援計画を作成する際にアセスメント当を行い適切に計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎月会議を実施し、他のスタッフの意見も反映できるよう工夫している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎月の会議で職員へ周知し共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		行動観察等は日々行い朝礼時に共有しているが、標準化されたツール等用いていないため今後導入を検討する。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		具体的な支援を計画し設定できるよう会議にて話し合いをしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		毎月会議を実施し、立案を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		毎月会議を実施し、立案を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		毎月会議を実施し、支援計画の立案をおこなっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝礼を実施し、業務の確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終了後は送迎業務が入る為、次の日の朝に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		児童の変化等は業務連絡のノートを用いて日々の情報交換を実施している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		モニタリングの実施を適せん実施している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児発管や管理者が会議に参加し状況を説明している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		連携を取れるよう代表者が地域の会議等に参加している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	幼稚園や支援学校とは適時担当者会議を実施し連携を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		支援学校とは適時担当者会議を実施し連携を図っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	8	児童支援センターとの連携はまだ取れていないが担当者会議等では繋がっている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	地域児童との交流は現時点ではとれていない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時や連絡帳などを用いて確認を行い、児童の変った様子等あれば逐一連絡し情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	各連絡会からの家族を交えた勉強会の案内を行っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時や料金変更時にご案内している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		モニタリングとアセスメントシートを用いて確認する機会を設けている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		計画を確認していただきサインをもらい同意していただいている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		悩みに対しては適時送迎やモニタリング時に実施し、適せん助言を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	父母の会の活動支援や保護者会等は開催できていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情があった場合には管理者や代表が率先し、保護者への対応を実施している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		年4回の開放やフェイスブックやインスタグラムを用いて活動の発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報の取り扱いについては注意しているが、クラウドサービス等用いてさらに管理の徹底を行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		障がい児や保護者に合わせた配慮を行いよう日々気を付けている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9	地域住民を招待した事業を実施できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルの見直しを定期的実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		2カ月に一度訓練の実施を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		看護師にて服薬の確認を徹底している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		アレルギー児童と医師の指示書を毎日確認するよう徹底している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	安全計画の作成を行い会議にて周知している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	6	安全計画の作成は行っているが、保護者への周知ができていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットを作成し情報共有を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月の会議時に研修や虐待についての研修を実施している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		身体拘束については保護者に同意書を作成し、慎重に実施している。	